

# 江州音頭だより

## 第46号

令和2年3月27日発行

こちらから  
ホームページへ

滋賀県江州音頭普及会事務局

http://go-shu.biwako-visitors.jp/

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1(滋賀県観光振興局内) TEL 077-528-3741/FAX 077-528-4877



後日探点をすると9人目が同点となっていたので、再度実行委員会を開催するのは無理と、そこで委員長長の判断で10人になりました。今までと違いスミズミの会議が進み、京都での江州音頭の発表も私の記憶の中では一番よかったと思っております。

今後は我が一門のことでなく、滋賀県の江州音頭普及の事を考えて、会員の皆さんと一緒に保存と普及に取り組んでいきたいと思っております。

令和になって初めての江州音頭フェスタが江州音頭発祥の地(八日市)で開催されるのは大変意義深いものがあります。また、去年は初代真鍮家文好の師匠の100回忌にあたり、私も江州音頭を習い始めて50年になりました。そんな中でフェスタが開催されることになり、八日市文芸会館をお借りしました。客席は八百席あり満員にしてお客さんの前で発表ができればと、色々考えて取り組みました。

先ず、旧の八日市市内の各家庭に知ってもらえるように、8か所のコメンを通じて回覧を回してもらおうと足を運びました。

次に八日市南小学校の五、六年生を対象に校長先生にお願いがありました。文芸会館は南小学校の校区内にあるので、たくさんの児童が来てくれると思っておりました。小学校は校歌を入れて南小音頭を作詞してCDに吹き込んで夏休み前に踊りを教えるに行っていました。

当日参加賞として江州音頭参加記念の文字を入れて鉛筆を準備しておりました。残念ながら満席にはなりませんでしたが、反省点として回覧ではなく、老人会や各種団体に配布すべきでなければ参加できない等、いろいろ問題がありました。スタッフの皆様のご協力により、無事に終了できました。

例年、京都大会出場の選考方法に苦慮していましたが、選考方法を考えて誰もが納得できるように公平にしました。その結果スミズミに出場者が決まりました。(選考者を一門の代表者一人にして、10点満点の最高と最低をカットする方法をとりました)

すでに9人の出演者が決まっております。後日探点をすると9人目が同点となっていたので、再度実行委員会を開催するのは無理と、そこで委員長長の判断で10人になりました。今までと違いスミズミの会議が進み、京都での江州音頭の発表も私の記憶の中では一番よかったと思っております。

### 災害時対策として活用される盆踊り

甲斐 昌樹(京都市)

さて、自身のお隣に住んでおられる方を、ご存じですか？、3軒隣の方は、昨今、隣の方も知らない人が増えているのが実情です。友達や

### 江州音頭の今

蓮葉家会 五代目 桜川 徳丸  
伊藤 耕造(甲斐市)

今、江州音頭という名のもとで音頭取りと云って活躍されている方はどれだけおられるでしょうか。私も含めて江州音頭を理解されている方がどれだけおられるでしょうか。江州音頭の音頭取りとしての流れ、脚本についての構成、節の使い方、成り立ちについて学んでいるのでしょうか。師匠に就いて学ばれている方は師匠が理解されている範囲で教えているとは思いますが、しかし個々が勉強しなければ音頭の上達は出来ないと、師匠に言われる方から指導を受けるのは、師匠に言われる方から指導を受ける必要です。師匠と云われる方から指導を受ける必要です。師匠と云われる方から指導を受ける必要です。

### 奥が深い!!

玉家三代目家元 櫻川好玉 櫻川 夕湖  
北村 夕美(伊賀市)

「こりゃ、どこといしょ、ええ、みなさま、たのみます。これは、よくおいやせの掛け声をご最初の3行が基本の基本。と師匠は教えてくれました。ゆり、押し、強弱、音程、これらみなど、どの節にも入つたらあかんがな！、子どもも頭合唱団にいた私には、ゆりが殊のほか難解。苦手でカラオケでもピアノなんてもいっつもゼロ！なので、自主練習では、レコーダーに入っている、師匠に指摘された箇所を神経を研ぎ澄まして、何度も何度も文盲の利点をフル活用して集中して聴きなおしに出す。押し、算数のように、1+1=2と答えが明確でないのに、途方に



江州音頭会館設立に向けて  
三代目真鍮家文好 一門 三代目真鍮家文好  
小椋 祥行(東近江市)

二十数年前に思っていたのですが、八日市には大風会館があるのに江州音頭は発祥の地なのに何故拠点がないのか、いつも疑問に思っていました。

昨年の始め金屋大通りに面したお店が後継者がなく、売りに出ているのを見かけ、江州音頭会館は場所的にも好都合といわれ、江州音頭会館にしようというお話をいただき、市から市長はじめ教育委員会、観光課等の立ち会ひのもと、私の思いをアレンしました。

市からの要望は真鍮家以外の東近江市の音頭取りの団体が連盟等を作って署名し、持ってくるよう言われました。それから、何回も市と会議を重ね九月に旧保健センター跡に四十畳の部屋を江州音頭に使用するという許しを得ました。桜川昇龍一門、桜川好玉一門、桜川小愛香一門、真鍮家一門で取り組むことになりました。旧保健センターには他四団体も入り先日説明会がありました。

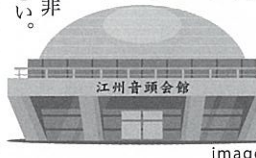
四十畳の部屋は何を展示するか、配置はどうするか、また、展示品を展覧するのに四苦八苦しています。各師匠方に古い写真や系統図等を頼んでいます。普及会の会員の皆様も展示できるようにお願いがあれば是非ともご提供くださいますようお願いいたします。

オープンする予定は四月後半の予定をしており、三月二十日から準備を始めます。江州音頭会館を立ち上げ、会館内に事務所を置いて活動を行います。そして、江州音頭の未永い発展に期待するため、できるだけ多くの人が呼びかけて資金の援助を募ることにいたしました。

何卒、我々の熱意と趣旨をご理解の上、応分の資金援助をお願いいたします。よう、ここに謹んでお願い申し上げます。

八日市へお越しの際は、是非江州音頭会館へお越しください。

東近江市八日市金屋2丁目6-25  
八日市図書館敷地内



## 子供向けの江州音頭教室情報

<h3>大津江州音頭保存会</h3> <p>講師：桜川 伯山 教室名：大津駅前教室 対象：小学生・中学生 場所：大津市役所 逢坂支所 2F 第3会議室 とき：毎月第一火曜日 17:00 ~ 18:00 受講料：無料(子供に限る)</p>	<h3>龍神家一門会</h3> <p>講師：桜川 花山 教室名：江州音頭 建部大社教室 対象：小学生・中学生 場所：建部大社 参集殿 とき：毎月第一木曜日 18:00 ~ 20:00 受講料：300円/回</p>	<h3>湖南祭文家サークル</h3> <p>講師：佐野 公治 教室名：湖南祭文家サークル 対象：親子・家族 場所：湖南市石部 コミュニティセンター とき：第一、第三土曜日 9:30 ~ 11:30 第一、第三水曜日 19:00 ~ 21:00 ※第1水曜日が土曜日より先に来る月は要変更 受講料：2,000円/1家族</p>
<h3>豊郷町江州音頭保存会</h3> <p>講師：藤野 恵津子 教室名：豊郷町江州音頭保存会 子供教室 対象：小学生 場所：豊郷町 豊栄のさと とき：毎月第三金曜日 19:30 ~ 21:00 受講料：無料</p>	<h3>真鍮家文好一門(三代目)</h3> <p>講師：小椋 祥行 教室名：南小音頭 対象：小学生 場所：東近江市立八日市南小学校 とき：2時間、夏休み前(小学5、6年生) 受講料：無料</p>	

## 平成30年度 滋賀県江州音頭普及会事業実績書

<p>江州音頭普及事業</p> <p>1. 情報発信事業 ..... 547,204円 (1) 江州音頭普及パンフレット・チラシ等の作成 (86,752円) 江州音頭を広く一般に紹介し、江州音頭の普及を図るためのリーフレット等の配布については、在庫より対応。 (2) 江州音頭フェスタ in しが2019の開催 (460,452円) 江州音頭愛好者のネットワークを拡げ、若い世代の愛好者育成と新しい時代にあった江州音頭を構築することを目的に、「江州音頭フェスタ in しが2019」を開催した。 (財源 県補助金 450,000円)</p>	<p>2. 県内・県外普及活動参加団体等への助成 ... 500,000円 (1) 江州音頭の県内での普及促進。さらには本県のイメージアップや観光振興につなげるため、県内で開催される観光展、物産展、コンベンション、イベント等を活用し、江州音頭の出張講演を行った団体に対し、その参加に要する経費について、助成金を交付した。(財源 県補助金 450,000円) (2) 江州音頭の県外普及をより促進するため、県外で開催されるイベント等に参加する団体に対し、その参加に要する経費について、助成金を交付した。</p>
<p>3. 江州音頭盆踊り大会の開催 ..... 1,000,000円 江州音頭の普及啓発のため、第36回江州音頭フェスティバル京都大会に対して負担金を支出した。 (財源 県補助金1,000,000円)</p>	<p>4. その他普及事業 ..... 92,340円 会報「江州音頭だより」を発行した。</p>
<p>5. 会議費・事務費 ..... 79,066円 会議室借り上げ、その他会の運営に必要な銀行手数料等を支出した。</p>	

## 平成30年度 滋賀県江州音頭普及会事業収支決算書

区分	予算額	精算額	差引増減額	摘要
情報発信事業費	600,000	547,204	△ 52,796	
パンフレット作成費	( 100,000)	( 86,752)	(△) 13,248	
フェスタ開催費	( 500,000)	( 460,452)	(△) 39,548	
県内・県外普及活動参加団体等への助成	500,000	500,000	-	
江州音頭盆踊り大会の開催	1,000,000	1,000,000	-	
情報連絡費	100,000	92,340	△ 7,660	会報発行
会議費	20,000	13,066	△ 6,940	
事務費	45,000	66,006	△ 21,006	銀行手数料、チラシ代
予備費	98,000	-	△ 98,000	
計	2,363,000	2,218,610	△ 144,390	

収入 2,283,865 - 支出 2,218,610 = 次期繰越 65,255円

滋賀県大津市京町4丁目1-1 県庁観光振興局内  
滋賀県江州音頭普及会事務局  
TEL 077-528-3741 FAX 077-528-4877  
E-mail ff00@pref.shiga.lg.jp

## 錫杖 販売しています

価格/55,000円(税別) ※袋は別売  
送料/1,000円  
問合せ先/桜川 昇山 (09039707855) まで

江州音頭フェスタを振り返り

尼江州音頭普及会 桜川 捨晴 木村 噴夫(甲良町)

江州音頭フェスタは、普及会の会員で、実行委員会委員を募集され運営されています。2001年、米原の文化産業会館で開催された時から、実行委員として参加させて頂いています。委員長、委員が変わりながら二十一年になります。私は、このフェスタに夢を持っていました。いつまでも続くことはもちろんですが、愛好者の若者離れを克服する為、県内の大学生に呼びかけ等もあり、県立大学の「湖風夏祭」に江州音頭を行うことが出来ました。これにより、フェスタの準備、若者の参加、呼びかけの協力を得ることが出来ました。

今年はずみ年です。私は、千代目です。二月十二日、初詣に京都の護国神社にお参りした時、全国都道府県女子駅伝に出会いました。県代表は、二十三位でした。昨年、三十五位でしたが、順位をあげて頭張ってくれました。私たちも頑張って、江州音頭普及活動を行っていきなさいと思います。



ネタツアー大江山(鬼人退治)

桜川 松菜(門会) 桜川 文楽 小西 栄子(守山市)

昨年は五月一日、新元号が「令和」になりました。私も、江州音頭に対し、新たな気持ちで、頑張ろうと気合を入れ直しました。

滋賀県江州音頭協会では、毎年恒例のネタツアーで、福知山市の「お城まつり」に四月十三日、十四と泊二日の旅行に行きました。

今回は、江州音頭を取るだけではなく、福知山音頭も踊る事となりDVDをお借りして踊りの先生方にもご協力をお願い致しました。皆様に踊りの練習をして頂きました。当日、踊りの掛け声は、江州音頭によく似たドッコイセが入り、ドッコイセ、ドッコイセ、チョイ、チョイ、チョイ、チョイ、チョイ、トコドッコイ、ドッコイ、ドッコイと初めてとは思えないほどスムーズに鮮やかな舞姿で地元のパレードに参加致しました。

御霊神社前のステージでは、大江山の鬼人退治という演題で、こりや、どっこいしょ、と生きのよい音頭が始まりました。

(挨拶 挿入) そりや、よいとよいや、まっかどっこいせ

へして早速でありますけれど、伺い上げます演題は、いとど古くは、あるけれども丹波、丹後は、但馬の国で三丹州にと、またがれた大江が山おは、鬼が城、鬼人退治は、中の切、そりや、よいとよいや、まっかどっこいせ



六人の音頭取りが次々に音頭を取り、大盛況に終わりました。

あくる日は、日本の鬼の交流博物館と明智光秀が築城された福知山城に行きました。また、八月にも呼びかけがかり、嬉しいことに再度、日帰りで行く事になりました。各地を回り文化交流にもなる江州音頭、皆々様のご協力の元、今年度も無事に納める事が出来ました。有難うございました。

江州音頭を学んで

江州音頭石音会 佐々木 栄一(湖南市)

北海道、東北そして関東での転居生活を繰り返し、その各地でいろいろな民謡に親しんできました。

数年前に滋賀県民となり、江州音頭の存在を知りました。その音頭を知りたくて「石音会」を訪ねて二年、ようやく江州音頭の難しさと、楽しさを感じているこの頃です。しかしこの会も高齢化が進み、新人の加入状況は厳しいものです。何故だろうか？滋賀県の伝統芸能の江州音頭の歴史は古く、屋台音頭(盆踊音頭)と座敷音頭に区別されるようですが、私は前者に喜びを感じています。会の活動は練習や地域の活動を含めると結構忙しい。石音会では江州音頭を通じて、夏祭り参加、小学校での音頭の指導と運動会の参加、



毎年、の経過もあり子ども達もノリがいい。半ばからは講堂に掛声が響き渡り私達も元気を貰った。校長先生の終わりの挨拶では「八十歳のパワーに負けました」。これは地域で積み重ねている大切な活動である。「みな八十路、踊る阿呆も、類染めし」。そして、県外ツアーでは福知山へ二度も参加する。光秀侯、ゆかりの神社に同参拝し、桜花爛漫の福知山城も最高だった。ここでは舞台と務め、街中のパレードも地元の人と共に加わった。思い返せば、毎年の県外ツアーは何処も素晴らしく、今更ながら毎年企画担当として下さった方々に有難うと感謝する。そして県外ツアーに参加したからこそ思いがある。

江州音頭の普及について、守りと攻め。地元での活動は、最も大切な礎でありこれを守りと考えれば、対する県外ツアーは攻めの活動だと思ふ。車の両輪のごとく両方とも大切な普及活動であらう。スクールレットに続き麒麟がくるも、滋賀が舞台である。全国の滋賀県人会の皆様も、喜ばれているだろう。これを追い風に江州音頭の更なる発展を願い、本年もよき企画をお願いしたい。

統一衣装全国に発信を!!

龍神家(門会) 桜川 花山 立花 守(甲賀市)

県の催し物や、イベントには全員が同じ浴衣で参加したらいかがでしょうか。滋賀県には琵琶湖という素晴らしい名所があります。その象徴の湖の色ブルーの浴衣で、誰が見ても「あれは江州音頭の衣装だ」と思ってもらえれば普及活動になるのではないのでしょうか。

以前、宿場祭りで、「おつちゃんカッコーえな」と言われたことがありますが。孫もハンガーに吊った浴衣を見て、「カッコいい」と言っていました。他県も行事には統一した衣装で参加しておられます。見た目も綺麗で迫力があります。二体感も生まれ、より絆が強くなり、普及活動に役立つのではないのでしょうか。郷土芸能の発展のため、県にも一部補助を陳情してはもらえないでしょうか。できるだけ多くのイベントに参加して、全国に発信したいものです。



江州音頭普及は車の両輪で

あいの土山江州音頭普及 福永 昭子(甲賀市)

昨年は酷暑のため、小学校の運動会は十月となる。それに先駆け九月に江州音頭の踊りの講師を務める。開口一番「私達はこの学校の〇年前の卒業生です。今日のボランティアは皆八十代です」と挨拶する。

こなん夏祭りは国際交流の場に

湖南 桑文家サークル 桜川 貴美若 佐野 公治(湖南市)

令和元年7月27日、日系ブラジル人の子供たちに江州音頭の練習を...との依頼を受けて、湖南市菩提寺の街セで行った。父兄も交えて約80名を前に音頭の説明をした。通訳のおかげで伝わった。踊りは友誼輪流の皆さんが身振り手振りよく輪を作っていた。その中にオーラを放つ女性がいいた、ブラジルの世界的な歌手ジョイセイカンドさんだった。そして8月3日、こなん夏祭り、スロウサンバを披露し観衆を魅了した!やがてボンダンスタイムに、彼女は浴衣に着替えて踊ってくれた。音頭は三席とも湖南市に関する名所名物を綴ったネタを発表できて好評のようだった。仮装踊りには幸葉会の皆さんが入賞したが、残念ながら湖南祭文家サークルの踊り子連は選ばれず夢は来年に持ち越すこととなった。

様々な高齢者及び福祉施設で音頭を披露しています。特に、江州音頭の歌と踊りを通じて、障がい者や高齢者の皆さんの活動に参加している事に誇りを感じます。もしかし、認知症に効果があるかも? 江州音頭が更に多くの方々に広まることを祈念しております。

2019年6月15日(土)に開催されました滋賀県立大学の学園祭第22回湖風夏祭(うみかぜまつり)にて、滋賀県伝統芸能江州音頭を行いました。当日はあいにくの雨となつてしまいましたが、屋内で江州音頭を行うこととなつてしまいましたが、たくさんのお客さんと一緒に踊ることで会場に一体感が生まれ、熱気あふれるものとなりました。

湖風夏祭で江州音頭を踊る

滋賀県立大学 湖風祭実行委員会 企画部長 清水 厚史



ひこね江友会は、江州音頭普及のため、彦根市老人福祉センターで、山崎先生ご指導のもと、会員が月三回稽古を重ねております。2019年、京都フェスティバルは、彦根から川村俊二さん、諸頭誠博さん、2名の方が予選会より選出され出演されました。踊りの部の参加が1名で淋しい結果でした。大会の方は盛大に催されましたが、踊りの部の参加を高めるため良い方法がないのかと困っております。

京都大会に参加して思うこと

ひこね江友会 前川 政夫(彦根市)

ドンドンとドンドン ソライトヨイヤマツカ ドッコイサノセー 私の江州音頭談義は、この太鼓の調子と囃子が始まり私、妻がお盆の敷入りの最中、高槻成合の春日神社での盆踊りでありました。 当盆踊りは、友人宅でのおよばれの後、その友人と、一緒に会場に向いたもので、樽は水田に囲まれた静かな田舎の中にありましたが、スピーカーから流れるメロディは実に名調子で身震いするほどの感動を覚えました。 その頃、私も、これから先の過ごし方に向けて何か趣味の芸を考えていた矢先であったので、「これや、江州音頭以降、ある音頭会にも入会させてもらい、シーズンの内外を問わず練習に励みました。 音頭の基本は何と云っても滋賀県にあります。この基本(節)と味は愛えてはなりません。私もこれらに添うべく、大津逢坂山教室へ毎月学習させていたおりました。昨年は滋賀県江州音頭協会の方々に東京高島屋前の路上ライブにもお供させていただきました。

これや 江州音頭や

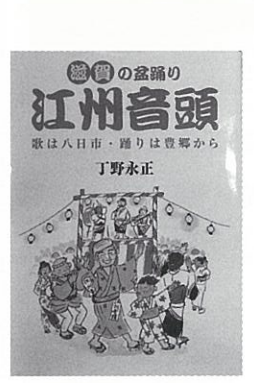
よし文家 桜川 隆月 松本 隆(茨木市)

昭和の前半に生まれて以来、令和の今日まで江州音頭の歩みを見てきた私にとって、「江州音頭の復活」というのが昨今の目標である。戦後の全盛期を知り、県の観光業(びわ湖まつり)を通して江州音頭と付き合ってきた私は、音頭の楽しさを覚えている。踊りはそれほど難しくなく、音頭も音曲に乗せた唄ものがたりを聞くように、結構おもしろいのだ。私は江州音頭以外にも、阿波踊りや郡上八幡踊り、河内音頭など知っているが、どんなにも多くの人が集まり、豪勢に行われているのに、どうして江州音頭は上手いのか残念で仕方がない。地元で熱意がないのか、PRが下手なのか、それとも音頭自体に魅力がないのか、いろいろ考えてみた。そして、江州音頭の冊子も出版してみた。本は結構売れているし、面白がつて読んでくれる人も多い。特に滋賀県出身者で県外に居住し、仕事をしている人々には喜んでもらっているようだ。そこで、「二、三年前から小学校の同窓会の宴会に音頭師さんをお招き、江州音頭の真実と踊りパーティーをやってみた。大へん好評なのである。幸い音頭師さんは、各地でそれなりに伝統を守っていただいているので心配はない。やはり、問題は地元の熱意とヤル気なのだ。八日市の、いや、滋賀県全体の地域芸能(遺産)である江州音頭を大いに広めるため、まずは宴会や親睦会に取り入れようではないか。そして、令和二年には、東近江市に「江州音頭普及愛好会」が新たに発足し、念願の「江州音頭会館」も開館する。私たちはこの会館を拠点にして、江州音頭の楽しさを全国に発信し、遊びに来てもらえるようアピールしていく所存です。

これからの江州音頭

江州音頭作家 丁野 永正(東近江市)

決して上手ではありませんが、懸命に勉強しております。今年も都々逸に挑戦したいと思っております。皆様方のご指導をよろしく申し上げます。 最後に、昨年滋賀県知事様より竜王ドラゴンハットで開催された江州音頭協会の音頭部門で芸術文化奨励賞をいただきました。実に光栄であります。 これも皆様方のおかげと感謝しております。



滋賀の盆踊り 江州音頭 歌は八日市・踊りは豊郷 著者 丁野 永正 サンライズ出版より好評発売中 価格 2,000円(税別)

大学生だけでなく、地域の方々と一緒に江州音頭を踊ったという思い出を共有できたことを大変うれしく思っています。今回共に会場を盛り上げていただいた江州音頭協会のみなさま、スターダスト河内のみなさまには、実行委員会一同深く感謝申し上げます。 これからも毎年この湖風夏祭でみなさまと楽しさを共有し笑顔にいくことを願っています。 地域の伝統が継承されていくことを願っています。 次回第23回湖風夏祭は6月20日(土)の予定です。ぜひ、私たちと一緒に江州音頭を盛り上げていきましょう!

江州音頭の裏表

玉家三代目家元 櫻川 好玉 竹岡 虎通(伊賀市)

江州音頭の櫓や、舞台を拝見していると、何度も裏に入っているのに気づかず平気でそのまま最後までやりきってしまう。 後で聞いたら、知らなかったと言われる。こういう方はリズムが体に染み込んでいないのだらう。

江州音頭のリズムは、四分の二拍子で成り立っている。音頭は三拍子とか言う家元がおられたが、それは論外として、洋楽的に表示するならば、「一小節は1ノドで成り立つ。タンタタ、タンタタの繰り返しであり、このリズムの上に歌詞をのせて唄う(取る)のであるが、例えば「エイ皆様頼みます」で言えば、「皆様のミの所に、拍目が来ないと、音頭は成立しない。踊り子で言うならば、「このミの所で、パン」と手を打つようにならなければ、音頭と踊りが合わないのである。前回のフェスタも最後の方で、裏に入つたまま音頭取りしてしまつた。今年もあるところで、裏に入つたまま音頭取り人数が、そのまま進行したに出くわした。これは音頭取りが悪かつたのではない。 踊り子が入り方を解らない踊りのリーダーが、の時に、「パン」と手を打ってしまったからである。中心部に、陣取つていたので、修正がからず、裏のまま最後まで踊り続けた。こうなつてしまつても、音頭取りの方で、表に返さないとダメなんだろうが、急編成のバックでは、統制者がいない。